



社長定例記者会見概要

9月28日午後3時から、テレビ武田社長、ラジオ入江社長、BS星野社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

<編成関連>

2016年度これまでの視聴率は、全日4位、G帯3位、P帯4位の状況、対前年上期では引き続き上昇傾向。7月クールはバラエティでは引き続き『マツコの知らない世界』、MBSの『プレバト!!』、『ニンゲン観察バラエティ モニタリング』、『ぴったんこカン☆カン』、『金曜日のスマイルたちへ』など、曜日の顔となる番組が堅調に数字を伸ばした。情報系では『あさチャン!』が全国的に上昇傾向で、オリンピック期間中は時差のあるリオの情報をそのままお伝えし、多くの方々から支持を頂いた。スポーツでは、リオオリンピックでTBSは女子マラソンの中継し、20%を超える視聴率を記録するなど、高い関心と呼ぶことができた。この10月改編でも、現在の上昇曲線を、早期に確実なものとするを第一の目標とし、「平時に愛され、有事に信頼される放送局」を目指し、「家族で見られる番組を揃える」という大方針で臨む。

<営業関連>

上期テレビ部門収入は、前年同期を上回りそうだ。ただ、ネットタイムは前年をわずかに下回る。去年は「世界陸上・北京大会」があり、これに代わり今年は「リオデジャネイロオリンピック」が売り上げに大きく貢献したが、前年には及ばなかったため。下期の見通しでは、ネットタイムは前年を上回るかなというところ。レギュラーセールスは前年を上回る。あとは年末年始セールスと、下期には「ワールドベースボールクラシック」などの単発があり、その売り上げ次第かなと。ローカルタイムは、下期はほぼ前年並みとなりそうだ。スポットセールスは、夏場は若干心配したが、9月10月11月と好況の流れが継続しており、この流れが年明けも続くことを願っている。

<事業関連>

「グルメ&スポーツ」をテーマに開催した4回目となる「TBS デリシャカス 2016」は、猛暑や台風等の荒天もあったが、来場者数は143万人、最高だった昨年を上回る結果となった。サカス広場では、9月22日から「サカスサーキット 2016」を開催している。10月のトピックスとしては、展覧会では、まず「ゴッホとゴーギャン展」を10月8日から、10月15日からは国立西洋美術館で「クラナハ展」を開催する。来年3月30日に開幕する

IHI ステージア라운드東京でのこけら落とし公演「髑髏城の七人 シーズン花」については、9月8日に出演者や共同プロジェクト各社の皆様とともに記者会見を行った。お蔭様で大変好評をいただいております、現在、抽選での先行申込みを受け付けはじめましたが、11月26日からの一般発売の際には完売も夢ではないありがたい状況となっている。

<ラジオ関連> TBS ラジオ 入江社長

2016年度8月期の首都圏ラジオのレーティング調査の結果が発表され、TBS ラジオは前回より0.1%アップの1.3%を取得。おかげ様で連続首位を91期15年2ヶ月にのびました。また全局のSIUも0.2%アップし、6.5%となった。8月は夏休み等で、レーティングは厳しいことが常であるが、今回再び上昇に転じた。ラジオでは平日土日の主軸ワイド番組がそれぞれ手堅く数字を獲得したことが数字アップに繋がった。ナイターオフの改編率は17%程度。ナイターゾーンに、様々なジャンルのDJ4名による大型生放送音楽番組を新設。8月の売上げは、タイム、スポット共に前年を下回る状況だが、イベントを中心とする事業収入と他局分収入が好調でトータルは前年を上回る見込み。しかしいずれも収入と費用の項目が大きく、利益は前年を下回る増収減益の見込み。

10月11日から、radikoのタイムフリー・シェアラジオの実証実験が開始される。ラジオ接触者を増やし、ラジオの魅力の再発見、ラジオの価値向上につながっていくことを願っている。宇多田ヒカルさんが出演するシェアラジオ/民放ラジオ特別番組への関心も多く頂いている。今後もラジオの媒体価値向上に注力していきたい。

<BS-TBS 関連> BS-TBS 星野社長

「第36回2016大分国際車いすマラソン」を10月30日に大会史上初の生中継。下期から4つの新番組がスタート。水曜21時に“ふれあい”をテーマにした『ふらり親子旅』。木曜21時に昭和歌謡のヒット曲を、様々なカテゴリーに分けベストテン形式で紹介する『昭和歌謡ベストテン』、土曜12時に関口宏さんが日本の魅力を再発見する『関口宏ニッポン風土記』、土曜17時30分に未来を切り拓く人の生き様を追うドキュメンタリー『夢の鍵』。世帯調査の結果も非常に大きな成果を上げた「侍ジャパン」U18、女子ワールドカップに続き、U23ワールドカップが10月28日に開幕、監督に讀賣ジャイアンツ二軍監督の斎藤雅樹氏が就任。大会初代チャンピオンを目指す若き侍の雄姿に注目。

以上